2021.2 月発行　第 270号

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ
鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30
Tel:23-2970　Fax:23-9110
E-mail:shk-vol2@shk01.jp

大雪の今冬 鶴岡の支え合い

高齢や障がい等により、自宅の除雪ができない方を地域の人たちで支える活動や、山間部の豪雪地で地域の人たちの支え合いだけでは対応が難しくなってきた状況を応援する活動が、市内の各地でみられました。**（紹介する活動は、多くの活動の中の一例です）**

除雪支援は、まず身近な地域にお願い！

雪が積もった朝は、多くの方が自宅前の除雪作業に追われます。しかし、高齢や障がい等のために自分で除雪作業ができない方もおります。

このような状況の中で、鶴岡市社協では、依頼された時間にボランティアが随時出向くことは現実的には難しいため、まず隣近所や町内会等の身近な人たちに除雪作業をお願いしてきました。その結果、除雪ボランティアの仕組みをつくり、地道な活動に取り組んでくれる町内会等が徐々に増えております。

◀ さんぜスノースイーパー
（三瀬地区自治会）

高齢者のみ世帯などへ、1対1のマッチングを行い、除雪支援と声がけを行う仕組みです。他に、冬期危険個所の巡視や、他地区と除雪を介した「労力交換」での地域間交流等も行っています。

ボラパーマン（大塚町町内会）▶

役員や民生委員･児童委員等一部の人が担っていた除雪活動を、若い人たちも含め町内会全体で支援する体制を築いて取り組んでいます。自分でできない世帯の他に、公民、ごみステーション等も除雪しています。

💜ボラパーマンとは、「除雪協力隊ボランティア、スーパーマン・ スーパーウーマン」を略した愛称。

▶多くの小中学生が申し込んでくれた、第一学区で行っている除雪ボランティア活動より。

小中学生が協力する除雪ボラ活動も！

鶴岡地域の第一学区コミュニティ振興会では、平成２０年度から13 年間、小中学生と同振興会や各町内会の方々が、高齢者世帯等の玄関先の除雪作業を行うボランティア活動を地道に続けております。今年は１月～２月に４回にわたり、希望があった 28 世帯を対象に、鶴岡三中と朝暘一小の計 45 人の児童生徒が活動を行っています。

企業の皆さんが地域貢献活動として！

山間部の豪雪地では、高齢者宅の雪おろしや除排雪の人手不足が深刻な地域課題の一つになっています。そんな中、企業から地域貢献活動をしたいという相談が増えています。特に除排雪ボランティア活動は、２年前にソニーセミコンダクタ M㈱の皆さんが朝日地域で行ってくれたことをきっかけに、今年は三和メイテック㈱の若手社員の皆さんが、１月から２月に数回朝日地域で活動をしてくれています。

また、朝日地域出身者が勤務する敦井産業㈱（酒田営業所。本社：新潟市）では、２月に朝日地域で屋根の雪下ろしの支援活動を行ってくれております。《各取組は、地元の自治振興会、朝日福祉センターと連携して実施》

三和メイテック株式会社
ボランティア責任者　佐藤　祐介さん

実際に活動してみて、豪雪地での除排雪作業の大変さを体感しましたが、それと同じくらいに、やり終えた充実感も感じました。こうした活動を通じて、地域の方々との交流を深めていきたいと思います。

朝日東部地区自治振興会
事務局長　渡部　政治さん

3m近くも積もる地区なので、雪下ろしや除排雪が、特に高齢者のお宅では切実な生活課題になっており、本当にありがたい活動です。活動していただいたお宅でも、家の中がとっても明るくなったと喜び感謝していました。

▲頼もしい若手社員の皆さんが、とってもきれいにしてくれました！

山新 「愛の鳩賞」

武久明雄さん、利江子さん夫妻（温海地域）

公益財団法人山新放送愛の事業団が毎年行っている、「愛の鳩賞」を、２０２０年１２月に受賞されました。

４４歳の時、明雄さんが脳幹出血で倒れ、命は助かるものの全身麻酔、声がでない等の後遺症が残りました。
厳しいリハビリを取り組む中で、奥さんと二人で始めたのが「障がい」を理解してもらい、子どもたちの「福祉の心」を育む活動やエールを送る「心の授業」でした。
以来１５年間、保育園、児童館、学校、地域に出向いて地道な活動を続けてこられました。

「ものは考えよう」「幸せも不幸も自分の気持ち次第」「人生あきらめなければなんとかなる」～武久夫妻より～

▲子どもたちの質問にも丁寧に回答！

厚生労働大臣表彰（ボランティア功労）

湯野浜婦人会

永年にわたり、福祉分野のボランティア活動を率先して行っている個人・団体に送られる「厚生労働大臣表彰」の伝達式が、２０２０年１２月に山形県庁で行われ、吉村美栄子知事から湯野浜婦人会の後藤るみ会長、五十嵐美津副会長に賞状と記念品が伝達されました。
昭和３７年に会を設立し、昭和３９年からボランティア活動に取り組み、以来５６年間、福祉施設や地区内外での地道な活動に取り組んできました。

特に「お茶のみサロン」は高齢者の居場所や安否確認の場として定着。またコロナ禍の昨春には、地区社協とともに、いち早く手作りマスクを一人暮らし高齢者等に届けるなど、時代に合わせた地域福祉活動を展開しています。

▶吉村知事と記念の一枚

締切が迫っています！

「荘内銀行ふるさと創造基金」募集

◆対象活動
- 学校における教育的な活動
- 地域住民と一体になった社会教育的な活動
- 県内に伝わる文化的な活動

◆助成金額
総額年間 1,000 万円程度（1 件あたり 10～40 万円）

◆助成対象期間
2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

◆申込みについて
①申込期限　2021 年 2 月 19 日（金）
②申 込 書　荘内銀行の本店支店（県内）か、ホームページ「荘内銀行ふるさと創造基金」で検索
又は、鶴岡市ボランティアセンターにあります！

申込・問合せ先
公益信託　荘内銀行ふるさと創造基金
事務局　荘内銀行広報CRS室
山形市本町 1-4-21
電話　023－626－9006

ボランティア募集中！

丙申堂と無量光苑　釋迦堂での活動

◆活動場所
- 丙申堂（旧風間家住宅）
- 無量光苑　釋迦堂（風間家旧別邸）

◆活動内容
①来館者の受付、ガイド
②庭園管理軽作業
①②のどちらかでも結構です

◆活動期間
2021 年 4 月 15 日～11 月 30 日

◆申込みについて
申込期限　　2021 年 3 月 19 日（金）
個別の活動内容、活動希望曜日・時間等の相談にも応じます！

申込・問合せ先
公益財団法人　克念社（丙申堂）
鶴岡市馬場町 1-17
電話　0235－22－0015
担当　　上野さん、または佐藤さん

2021 年度のボランティア保険の加入受付を開始しました！

申込手続きは、ボランティアセンター、または、各福祉センターまで

〈らくがき〉　新型コロナウイルスの影響が、まだまだ続いています。人と人とがふれあって行われることが多いボランティア活動。
新旧取り混ぜながら、模索の時代ですね（H）

東日本大震災から１０年。

～10年目のCandleNight実行委員会～

会場：鶴岡アートフォーラム
3/10（水）　キャンドル作り
3/11（木）　追悼のつどい、キャンドル点灯、他

チラシはボランティアセンターにも有!!